

名家連ニュース

令和4年8月2日(火)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.879号

◆◆ 令和4年7月 家族ピア相談事業 集計報告 ◆◆

◀ 相談件数 ▶

	4月～6月	7月	合計
電話相談	301	87	388
面会相談	156	16	172
合計	457	103	560

◀ 相談人数 ▶

	4月～6月	7月	合計
電話相談	93	30	123
面会相談	33	3	36
合計	126	33	159

◀ 付添い相談人数 ▶

	4月～6月	7月	合計
付添相談	9	0	9

付添い相談人数は面会相談人数に含まれます。

◀ 支援内容 ▶

	4月～6月	7月	合計
年金受給者	1	1	2
手帳受給者	0	0	0
家族会入会	1	2	3

◀ 相談内容 ▶

相談項目 相談形態	家族会について	相談 制度利用に関する	医療に関する相談	相談 病気や障害への対応	相談 家族関係に関する	生活に関する相談	就労に関する相談	相談 社会参加等に関する	その他	合計
電話相談	1	8	14	20	16	15	4	3	6	87
面会相談	1	3	2	3	3	2	0	2	0	16
合計	2	11	16	23	19	17	4	5	6	103

◀ 相談者続柄 ▶ その他10名の内訳：当事者9名(年金・手帳相談者1名)、支援者1名

続柄	祖父母	父親	母親	夫	妻	兄弟	子供	その他	合計
人数	0	1	17	0	0	1	2	10	31

◆◆ 家族相談室便り ◆◆

7月の相談者は大阪、熊本、知多市、愛西市など市外の方からの相談がありました。何れも名家連のホームページや名古屋市の「こころの絆創膏」、各医療機関に配布した家族相談のチラシを見て電話をかけてこられました。離れて住んでいる義母や義妹の病気の対応に同居している家族が翻弄され、何か良い手立てはないものかという相談内容でした。大家連(大阪の家族会)や熊本県連の紹介、地元の家族会や基幹相談支援センター、障害福祉課や保健所などの相談窓口をお知らせしました。年金更新に不安を抱えていた相談者から「継続の通知が届きました」と弾んだ声で電話…私の心も明るくなります。(家族相談員：池山豊子)

2022年度精神疾患の基礎講座の内容が決まりましたので、次ページにその案内チラシを載せます。

2022年度 精神疾患の基礎知識講座（連続6回）

生き生きと安心を持って生活するために

～家族だってわかってもらいたいことがある～

講師：愛知県立大学 看護学部 チーム精神(精神看護学担当教員)
山田 浩雅先生・加藤 宏公先生・兒玉 善明先生

会場：名古屋市総合社会福祉会館(北区総合庁舎) 7階
大会議室 ※第6回 2/18は研修室です。

時間：14:00～16:00

参加費無料
どなたも参加できます

第1回 9月3日 (土)	精神看護学とは何を教えているの？ ～ 本人の気持ちを大切にすること ～ 一般的に看護学生がどんな精神の勉強をしているのか聞いてみよう 看護の学びを聞いて何か知りたいこと、家族にも効果がありそうなことは？
第2回 10月1日 (土)	病院との付き合い方とは ～ 医師・看護師 そして 家族 ～ 医者に何を聞くべきか。看護師には何を聞くとよいか？ 入院後の経過・制限のある入院生活について、聞きたいこと、知りたいこと
第3回 11月4日 (金)	精神科訪問看護って何をしているの？ ～地域の中でいざというときに～ 地域生活の中で起こる当事者の症状に対する対応はどうしているか？ 暴力等や症状悪化した時に何ができるのか、どんなことが周りにあったらいいか
第4回 12月25日 (日)	それでも家族がやれてきたこと ～ 自分自身、そして周りにおいて ～ 今年を振り返り、自分自身に対して思ってきたこと、当事者への思いについて。 リフレーミングをする中で、自身のことを改めて知ってもいいかな
第5回 1月22日 (日)	親も子も生き生きと ～ そのための方略 ～ 家族間では様々な出来事があり、そこに感情が生まれ、寄り添い、離れ、くっつく… 家族のトラウマ、家族エンパワメントなど、少し対策を考えてみよう
第6回 2月18日 (土)	明日からうまく生きていこう ～ 親亡きあとの支援ノート ～ 自身は何を大切に生きていくか。安心できるために当事者の行く末を整理しておく これをやっておけば、何とかなるだろう。～あとは任せる～そして祈る～

主催：NPO法人名古屋市精神障害者家族会連合会・名古屋市
名古屋市精神障害者家族ピアサポート総合事業

